

## 元町公園及び旧元町小学校の保全・有効活用について

### 1 文京区立元町公園及び旧元町小学校の保全・有効活用検討会について

元町公園及び旧元町小学校の保全・有効活用にあたり、建物の現状調査（劣化度調査）や民間活力導入可能性調査を実施するとともに、元町公園及び旧元町小学校近隣7町会長との意見交換を継続し、事業者提案の公募実施に向けて検討してまいりましたが、このたび、区が、整備方針等を策定することとし、検討に当たって、多様な意見を聴取するため、検討会を設置しました。

#### 《検討事項》

- (1) 区が策定する「整備方針」について（保全・有効活用の方向性）
- (2) 基本計画等について

#### 《検討時期》

- (1) 平成29年3月頃まで
- (2) 概ね平成29年中

#### 《委員の構成》

- (1) 公募委員 6人以内
- (2) 地域住民 7人以内（元町公園及び旧元町小学校近隣7町会代表者）
- (3) 学識経験者 2人
- (4) 行政委員 3人（企画政策部長、区民部長、土木部長）

※ 幹事 関係課長等は幹事として検討会の会議に出席し、説明をし、意見を述べます。

### 2 今後のスケジュール（案）

平成28年度

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| 29年1月17日 | 第1回検討会（以降、2か月に1回程度開催） |
| 3月以降     | 整備方針等の策定              |

平成29年度

- |         |                              |
|---------|------------------------------|
| 29年4月以降 | プロポーザルによる事業者選定準備<br>基本計画等の策定 |
|---------|------------------------------|

## 1 元町公園及び旧元町小学校近隣7町会長との意見交換会のまとめ

今後、元町公園及び旧元町小学校の保全・有効活用に際して旧元町小学校に求められる公共的機能等は次のとおりです。（平成27年8月から28年8月までに7回開催）

### ○ 避難所

- ・想定される避難者数を勘案し、避難所としての安全を確保した上で有効面積の拡充や備蓄倉庫の見直し（地下からの移動等）を行います。
- ・災害の際に、所要の面積（避難所、避難所運営本部、備蓄倉庫等）が確実に使用できるようにします。

### ○ 投票所

これまでどおり、引き続き、投票所機能を継続します。

### ○ 地域交流スペース、旧元町小学校の歴史を展示する空間

地域の方が自由に入出りできる地域交流スペースや旧元町小学校の歴史を展示する空間について、今後、どのようなスペースとするか（広さや使い方、動線等）、地域の方と意見交換しながら、詳細を検討します。

### ○ その他の機能

この他の公共的機能（介護予防、保育、カフェ等）については、地域貢献として事業者提案を促します。

- なお、有効活用面積の確保を図り、区民にとって有効かつ安定的な活用となるよう、民間活力の導入を進めます。

## 2 元町公園の保全・有効活用について

元町公園は大正12（1923）年の関東大震災後、東京市により、焼失区域の各小学校に付随して建設された震災復興小公園52か所の一つです。

昭和50年代後半から昭和60年3月にかけて行われた、前回の改修から相当な期間が経過しており、全体的に劣化が顕著となっています。

また、地域の貴重な緑である一方、年月とともに成長した樹木がやや密集した状況になっているため、日照や視認性に難があり、防犯の面でも課題があります。

元町公園の整備に向けた考え方については、次ページのとおりです。

## 《元町公園の整備にむけた考え方（案）》

元町公園については、歴史性の継承という観点から、基本的に保存を前提として考えています。

### ○ 旧元町小学校との一体的な屋外空間の形成

セキュリティ（防犯対策）にも配慮をしながら、旧小学校との一体的な屋外空間の形成に努めます。旧小学校との間の門やフェンスの形状等、空間形成の具体的な案については、事業者の提案を見ながら検討します。

### ○ バリアフリーへの対応

公園上段部東側の道路との接地部分を中心に、公園全体の景観や意匠を損なわない範囲で可能な限り、段差の解消（スロープの設置等）や動線の再整備（公園管理事務所、遊具等の配置の見直し等）を行います。

また、公園に設置されているトイレについては、「誰でもトイレ」の設置等を含め、設備面での更新を検討します。

### ○ 明るく開放的で安全・安心な空間の創出

公園上段部の中心付近にある樹木や、本来の眺望を遮り視認性に難のある樹木など、密集した樹木の整理や樹木の配置の見直すことで、子どもが安心して遊ぶことのできる、明るく、安全・安心な空間を創出するとともに、地域住民の憩いやにぎわいの場となるよう、住民参画も含めた公園の管理運営方法・ルールづくりについても検討します。

### ○ 地域の防災拠点として

避難所に指定されている旧元町小学校との一体的な利用に鑑み、「かまどベンチ」や「マンホールトイレ」の設置の可能性等、東日本大震災時の利用実態も踏まえ、地域の防災拠点としてのあり方について検討します。

### ○ 劣化への対応と歴史性の継承

樹木や公園内の施設（壁泉、カスケード、パーゴラなど、元町公園の特徴的な意匠を含む）、設備などの現況を調査し、劣化等の状況を明らかにしたうえで、土留め、縁石、擁壁などの改修、植栽や遊具の配置換えや撤去・更新、公園照明などの設備更新を行うとともに、元町公園の特徴的な意匠について修復を行います。

### ○ 周囲の景観や街並みとの調和

聖橋など、震災復興期に立てられた建築物の多い神田川界限などの周辺地域を含め、緑豊かな街並みに寄与するような配慮や景観と調和した整備を行います。